

## 再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：高松 諭

<b>事業名</b> 北海道縦貫自動車道 <small>しべつけんがら なよろ</small> <small>しべつけんがら</small> 士別剣淵～ <small>なよろ</small> 名寄	<b>事業区分</b> 高速自動車国道 <b>事業主体</b> 国土交通省 北海道開発局																											
<b>起終点</b> 自： <small>ほっかいどう しべつ みなみまちひがし</small> 北海道士別市南町東 至： <small>ほっかいどう なよろ ほうえい</small> 北海道名寄市字豊栄	<b>延長</b> 24.0 km																											
<b>事業概要</b> 北海道縦貫自動車道は、函館市を起点とし、室蘭市、札幌市、旭川市、士別市、名寄市等を経由して稚内市に至る高規格道路である。 士別剣淵～名寄は、高速ネットワークの拡充による道北圏と道央圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び物流の効率化等の支援を目的とした士別市南町東から名寄市字豊栄に至る延長24.0 kmの事業である。																												
<b>H15年度事業化</b> （新直轄方式）	—	<b>H19年度用地補償着手</b>	<b>H19年度工事着手</b>																									
<b>全体事業費</b>	約533億円	<b>事業進捗率</b> <small>（令和5年3月末時点）</small>	約90%	<b>供用済延長</b>	0.0 km																							
<b>計画交通量</b> 5,100台/日																												
<b>費用対効果分析結果</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"><b>B/C</b></td> <td style="text-align: center;"><b>事業全体</b></td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>残事業</b></td> <td style="text-align: center;">3.9</td> <td></td> </tr> </table>	<b>B/C</b>	<b>事業全体</b>	1.2	<b>残事業</b>	3.9		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"><b>総費用</b></td> <td style="text-align: center;"><small>（残事業）/（事業全体）</small></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">216/692億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（事業費：134/610億円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持管理費：82/82億円</td> <td></td> </tr> </table>	<b>総費用</b>	<small>（残事業）/（事業全体）</small>	216/692億円		（事業費：134/610億円）		維持管理費：82/82億円		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"><b>総便益</b></td> <td style="text-align: center;"><small>（残事業）/（事業全体）</small></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">847/847億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（走行時間短縮便益：667/667億円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">走行経費減少便益：150/150億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">交通事故減少便益：30/30億円</td> <td></td> </tr> </table>	<b>総便益</b>	<small>（残事業）/（事業全体）</small>	847/847億円		（走行時間短縮便益：667/667億円）		走行経費減少便益：150/150億円		交通事故減少便益：30/30億円		<b>基準年</b> 令和5年
<b>B/C</b>	<b>事業全体</b>	1.2																										
<b>残事業</b>	3.9																											
<b>総費用</b>	<small>（残事業）/（事業全体）</small>																											
216/692億円																												
（事業費：134/610億円）																												
維持管理費：82/82億円																												
<b>総便益</b>	<small>（残事業）/（事業全体）</small>																											
847/847億円																												
（走行時間短縮便益：667/667億円）																												
走行経費減少便益：150/150億円																												
交通事故減少便益：30/30億円																												
<b>感度分析の結果</b> 事業全体及び残事業について感度分析を実施 【事業全体】交通量：B/C=1.1～1.4（交通量±10%） 【残事業】交通量：B/C=3.5～4.4（交通量±10%） 事業費：B/C=1.2～1.2（事業費±10%） 事業費：B/C=3.7～4.2（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.2～1.3（事業期間±20%） 事業期間：B/C=3.9～4.0（事業期間±20%）																												
<b>事業の効果等</b> <b>事業の必要性及び効果</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 救急搬送の安定性向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・名寄以北地域から旭川市等の高次医療機関への救急搬送時間が短縮され、救急搬送の速達性・安定性向上が期待される。</li> </ul> </li> <li>② 水産品の流通利便性向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場や物流拠点への定時性及び速達性の高い輸送ルートが確保され、水産品の流通利便性向上が期待される。</li> </ul> </li> <li>③ 農産品の流通利便性向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・混雑する市街地を回避し、物流拠点等への定時性及び速達性の高い輸送ルートが確保され、農産品の流通利便性向上が期待される。</li> </ul> </li> <li>④ 生体牛の流通利便性向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送中のストレスの低減が図られる速達性及び安定性の高い輸送ルートが確保され、生体牛の流通利便性向上が期待される。</li> </ul> </li> <li>⑤ 道路交通の安全性向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・物流等の広域交通と生活交通の分散が図られることで、隣接する名寄バイパスの事故率減少と同様の効果が期待され、道路交通の安全性向上が期待される。</li> </ul> </li> <li>⑥ 観光地への利便性向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速ネットワークが拡充され、主要観光地へのアクセス性が向上することで道北地域の広域観光の活性化が期待される。</li> </ul> </li> </ol>																												

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

士別市、旭川市など7市4町の首長等で構成される「北海道開発幹線自動車道道北建設促進期成会」等より整備促進の要望を受けている。

知事の意見：

「北海道縦貫自動車道士別剣淵～名寄」事業を「継続」とした「対応方針（原案）」案について、異議はありません。

当該事業は、高速ネットワークの拡充による道北圏と道央圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び物流効率化等を支援するなど、経済・社会活動の活性化や道民の安全・安心なくらしの確保に寄与することから、早期供用を図るようお願いいたします。

なお、事業の実施にあたっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、より一層の徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成 9年11月 名寄美深道路 名寄IC～名寄北IC開通
- ・平成15年 3月 名寄美深道路 名寄北IC～智恵文南入口開通
- ・平成15年10月 北海道縦貫自動車道 和寒IC～士別剣淵IC開通
- ・平成16年11月 豊富バイパス 豊富サロベツIC～豊富北IC開通
- ・平成17年 9月 市町村合併により、士別市及び朝日町が「士別市」となる
- ・平成18年 3月 市町村合併により、名寄市及び風連町が「名寄市」となる
- ・平成18年 3月 市町村合併により、枝幸町及び歌登町が「枝幸町」となる
- ・平成18年11月 名寄美深道路 智恵文南入口～智恵文IC開通
- ・平成20年 4月 道の駅「もち米の里☆なよろ」開業
- ・平成22年 3月 名寄美深道路 智恵文IC～美深IC開通
- ・平成22年 3月 幌富バイパス 幌延IC～豊富サロベツIC開通
- ・平成25年 3月 名寄美深道路 美深IC～美深北IC開通
- ・平成29年10月 シーニックバイウェイ北海道「天塩川シーニックバイウェイ」登録
- ・令和元年 9月 北海道縦貫自動車道 和寒IC～士別剣淵IC間  
暫定2車線区間における4車線化の優先整備区間に選定
- ・令和 3年 5月 道の駅「羊のまち・侍・しべつ」開業

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成19年度に工事着手して、用地進捗率約96%、事業進捗率約90%となっている。

(令和5年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

軟弱地盤対策の見直し、防雪柵の追加等。

引き続き、早期開通に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

軟弱地盤対策の見直し、防雪柵の追加等。

引き続きコスト縮減に取り組んでいく。

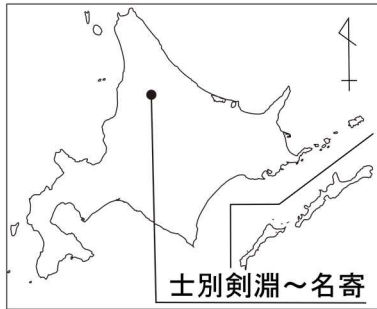
対応方針

事業継続

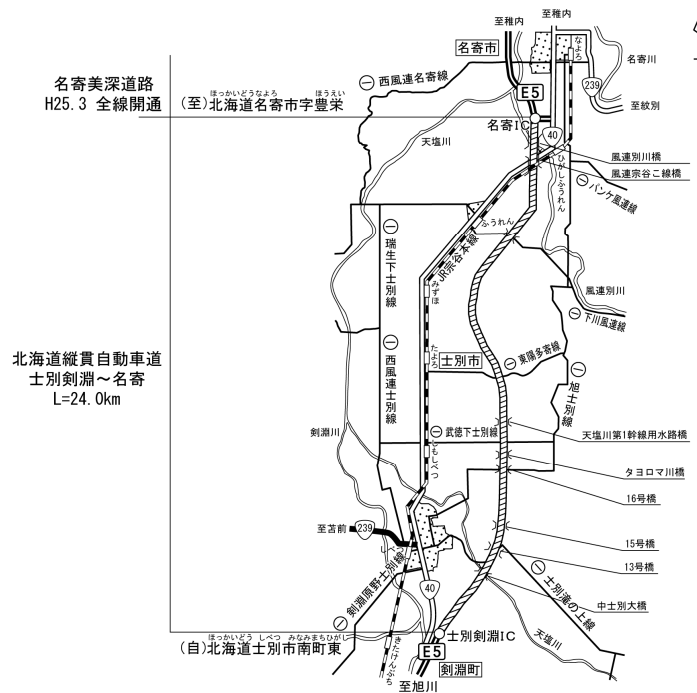
対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図



凡 例	
	開 通 区 間
	再 評 価 区 間



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。